

JICA 海外協力隊 赴任前留意事項

セルビア国



※本資料に記載の情報は、作成日現在のものであり、その後状況が変化している場合があります。記載内容については正確を期していますが、万が一誤りがあった場合には JICA は責任を負いかねますのでご了承ください。

※本資料は JICA 海外協力隊を対象としたものであり、その他の方には該当しない情報も含まれている可能性があります。

目次

1. 赴任時の携行荷物について
2. 別送荷物について
 - (1) アナカン・郵送等の利用について
 - (2) 通関情報について
3. 通信状況について
 - (1) パソコンの普及状況
 - (2) 携帯電話の普及状況
4. 現金の持ち込み等について
 - (1) 現金持込にかかる注意
 - (2) 両替状況
 - (3) クレジットカード、および、国際送金サービスによる現金の受け取りについて
 - (4) 赴任時に用意することが望ましい金額について
5. 治安状況について（JICAの安全対策については、隊員ハンドブックを参照）
6. 交通事情について
7. 医療事情について
8. 蚊帳について
9. 任国での運転について
 - (1) 本邦、国際免許証の携行の要否
 - (2) 現地運転免許の取得手続き
 - (3) 車両の購入・輸送について
10. お問い合わせ
11. その他

1. 赴任時の携行荷物について

(1) 赴任時に必ず持参するもの

セルビアでは通常の生活用品、電気製品はほとんど購入可能です。ただし、電圧が 220V、周波数は 50Hz なので、日本の電気製品を携行し、使用する場合は、ヨーロッパ仕様のプラグアダプタ (C タイプか SE タイプ) と必要に応じ変圧器が必要ですので、ご持参ください。なお、セルビアでの変圧器の購入は容易ではありません。

差し当たり必要となる、身の回り品及び当初の活動に必要な機材等と、公式訪問用の服装 (スーツ等)、ボランティアハンドブック、JICA ボランティアの派遣に関する合意書 (コピー)、共済会ハンドブック (PDF)、予防接種記録カード、必要な薬品などは必ず携行してください。

<注意事項>

- 段ボールで同時携行する場合、荷物は入国の際の通関にて検品される可能性がありますので、できるだけスーツケースやバッグを使用してください。また、検品された場合に備え、パソコン・電気製品など課税される可能性のあるものは、オリジナルの箱を使わず、カバンに入れるなどして再販不能の中古品であることを明確に示してください。(その他通関情報に関しては後述。)

※本来、JICA ボランティアは同時携行の場合は免税で荷物を持込めますが、税関職員の認知不足で税金の支払いを命じられトラブルが生じることもありえるので、このようにした方が安全です。

2. 別送荷物について

(1) アナカン・郵送等の利用について

- 郵送 (航空小包など。日本郵便 HP を参照して下さい)

受け取りの際にアナカンより手間がかからず、国際宅急便に比べて安価で送ることができますが、高額な物品は避けるべきでしょう。

※内容不明小包は検品対象となり、国際空港税関まで本人がパスポート持参で開梱立ち会いの必要があります。新品のものは開封して再販不能の状態にすれば、中古品としての扱いになり課税対象にはなりません。内容名には [USED] を付けてください。例：USED BOOKS / USED CLOTHES

※内容がインボイス、パッキングリストにより明確であっても、必ず開梱されます。新品の場合は郵便局での引き取りの際に関税を払うことで引き取れます。郵便局での保管期間は短いので、通知葉書の受領後速やかに指定の郵便局に出向くことが必要です。

- アナカン (Unaccompanied Baggage) (運送業者の HP を参照して下さい)

荷物が大量にある場合は、アナカンが便利です。ただし、個人での免税通関手続きには膨大な手間暇がかかるため通関業者を使うのが一般的であり、航空 (海上) 運

賃に加えて、通関手数料、保管料、場合によっては配送料金が必要となります。

- 国際宅急便（運送業者の HP を参照して下さい）

出荷の際に業者の詳しい説明があります。貨物の引き取り、輸出入の通関、貨物の配送とすべての作業を業者がやってくれますので手間がかからず便利ですが、やや高価です。

(2) 通関情報について

輸送した貨物の内容が不明な場合は検品対象となり、国際空港税関まで本人がパスポート持参で開梱立ち会いの必要があります。新品のものは開封して再販不能の状態にして輸送すれば、中古品としての扱いになり課税対象にはなりません。

内容名には[USED]を付けてください。例：USED BOOKS／USED CLOTHES

内容がインボイス、パッキングリストにより明確であっても、必ず開梱されます。

課税対象となった場合は郵便局での引き取りの際に関税を払うことで引き取れます。郵便局での保管期間は短いので、通知葉書の受領後速やかに指定の郵便局に出向くことが必要です。

3. 通信状況について

(1) パソコンの普及状況

- パソコン

パソコンは日本から持ち込み可能です。セルビアでもデスクトップ／ラップトップともに購入は可能ですが、基本的にセルビア仕様（キーボードがセルビア語配列等）のため、日本から持ち込むことをお勧めします。電圧は欧州と同様 220V です。なお、日本からパソコン及び周辺機種を持参する場合、電源が 100/240 ボルト兼用になっている機種の場合は差込プラグにプラグアダプタを使用するだけで使用可能です。100 ボルト専用になっている機種の場合は変圧器が必要です。万一の場合を想定して、購入時の領収書（保険請求のため）、国際保証書、OS システム等のオリジナルソフトを携行することをお勧めいたします。停電直前や落雷の際に過電圧がかかり、回復不能なダメージを受けることもあるので、防護のための電源安定器（スタビライザー、当地購入可）の使用をお勧めします。

- インターネット

ベオグラード市内のホテルであれば、日本から持ち込んだパソコンでホテルの部屋などから接続できます。ワイヤレス LAN も普及しています。ホテルのビジネスセンター、インターネットカフェなどでも利用可能です。ただし一部の地方の小都市ではネット環境が十分でないところもあります。アパート等一般市民の住居ではインターネットは普及傾向にあり、大家を通じてプロバイダと契約することでインター

ネットを利用できます（有線／無線共に可能）。

（２）携帯電話の普及状況

• 携帯電話

安全管理の一環として携帯と SIM は当事務所から貸与しますが、クレジットはご自身でトップアップし、常につながるようにして下さい。別途、ご自身で携帯電話を購入・使用される際には以下をご参照下さい。

携帯電話は一般的に広く普及しており、いたるところにある携帯電話ショップで容易に入手可能です。また、自身の携帯電話を持参し、利用する場合は、携帯電話に挿入する SIM カードを入手し、携帯電話にセットすることで利用可能となります。ただし、日本から携帯電話を持参し、当地で使用する際には SIM ロックが解除されている状態である必要があります。

通話料の支払いは前払い方式（プリペイド）と後払い方式とがありますが、長期滞在者以外は前払い方式をお勧めします。主な携帯電話会社は、A1（オーストリア系）、Yettel（チェコ系）、mt:s（テレコムセルビア）があります。

プリペイド方式の場合、通話料の補充は、「口頭電子入力方式」でおこないます。キオスクなどで「500 ディナール分をこの番号へ」とお願いすると即座に手続き・入金されるシステムで、入金確認もその場でできます。また、スマートフォンを使用する場合は、各社から専用アプリが提供されており、アプリにクレジットカードや銀行のデビットカード情報を登録することで、アプリ上で通話料を支払うことができます。

4. 現金の持ち込み等について

（１）現金持込にかかる注意

セルビア入国の際には所持金額によって外貨申告の義務があります。5,000 ユーロ相当額以上の現金、小切手、約束手形、為替手形等を持込む場合には、入国時に税関で外貨等持込証明書を発行してもらう必要があります。

（２）両替状況

大きなホテル、銀行、市内両替所で換金可能です。大手銀行などでは日本円の両替も可能ですが、ユーロ（またはドル）からの換金が一般的ですので、持参する場合はユーロでお持ちすることをお勧めします。トラベラーズチェックは、ユーロ、米ドルのものについては大手銀行で現金への換金が可能ですが、窓口での対応に非常に時間を要する上、手数料が 1.5—2.0% かかり、さらにホテルなどで直接支払いに利用することはできませんので、お勧めしません。

両替所に関しては主要都市のいたるところにあります。ベオグラード市内においては、中心街の両替所のレートが若干良いようですが、慣れるまでは銀行で換金した方が安全です。両替後はその場をすぐ離れないで目筋確認し、交換した紙幣に破損

あるなど不審な場合は、ためらわず交換を申し入れましょう。

- (3) クレジットカード、および、国際送金サービスによる現金の受け取りについてセルビアでは国際クレジットカード(VISA、Master 等)によるキャッシングサービス、および国際送金サービス(Wise、Revolut 等)を利用して現金を受け取ることも可能です。利用にあたっては、各社のホームページ等を参照し、利用方法やサービス内容および注意事項等について最新の情報を確認してください。
- (4) 赴任時に用意することが望ましい金額について
現地生活費は、当地で開設いただく銀行口座に四半期毎に振り込まれます。セルビアでは、パスポートを身分証明書として外資系銀行の口座を1~2日程度で開設でき、着任後口座を開設し次第、事務所から四半期分の現地生活費を送金いたします。そのため、赴任時の生活に要する現金は500ユーロ程度持参いただければ十分です。生活費に加え、住居として入居時に入居月分(通常は日割り計算)と翌月分の家賃、およびデポジット(敷金)として家賃一月分を立替払いしていただきます。家賃額は任地、および、物件によってことなりますが、ベオグラード、ノビサド、ニシュなどの大都市では上限700ユーロ程、その他の地方都市では500ユーロ程になりますので、大都市で2000ユーロ程、地方都市では1500ユーロ程を、生活費とは別に持参してください。

5. 治安状況について (JICAの安全対策については、隊員ハンドブックを参照)

凶悪犯罪は他の欧州諸国と比較しても少ないものの、夜間は事件発生率が高まります。また、スリ・置き引き等の一般犯罪は多いので注意が必要です。詳しくはセルビアに着任後のオリエンテーションにて、バルカン事務所から当地における安全管理について説明します。

- (1) とるべき安全対策
持っている荷物には常に気を配りましょう。口の閉まらないバッグなどは持たないよう心がけましょう。混雑している場所では、リュックは前に持ちましょう。
- (2) 注意すべき場所
鉄道駅／バスターミナル周辺、バス・トラム車内、小さな裏通り、混雑している青空市場など。スリ被害が報告されています。
- (3) 最新治安情報
2025年10月現在、前年の11月から始まった学生・一般市民による政府への抗議行動(大中小規模のデモ行進と集会、主要道路の封鎖など)が続いていますが、これらの活動対象場所に近づかなければ、通常的生活・活動に支障はありません。最新情報は以下のサイトでご確認いただくか、バルカン事務所までお問い合わせください。
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_175.html (外務省「海外安

6. 交通事情について

(1) 一般事情

ベオグラード市内では車での移動は一般的で交通量も多いです。運転手つきレンタカーサービスもあり、走行距離によって値段が変わりますが、一日 100 ユーロ程度からサービスを受けることができます。

タクシーはタクシー乗り場で客待ちをしているものを拾うか、携帯配車アプリもしくは電話で依頼するのが良いでしょう。配車アプリは日本で使用されている物と同様に、自分のいる場所と行先を入力して配車依頼をすると、タクシーのナンバー、運転手、料金、乗車までの時間等が表示されます。電話の場合は、タクシーの番号と到着時間を教えてくれ、大抵 2~5 分程でタクシーが到着します。運転手の多くは簡単な英語会話が通じます。鉄道駅周辺や空港の到着ロビーで客待ちしているタクシーは、概ね白タクですので利用は控えることをお勧めします。白タクと見分けやすくするよう、ベオグラード市は、正式な認可を受けているタクシーのライセンスプレートの最後の二文字を TX (例、BG - 123-TX) としています。またレストラン等では店員にタクシーを呼んでもらうことをお勧めします。

大都市では公共バスやトラム、トロリーバスが数多く走っており利用が可能です。ベオグラード市内は、バス、トラム、トロリーバス共に無料です (2025 年 10 月現在) その他の都市では、BUS PLUS・IC カード乗車券 (以下、BUS PLUS)、もしくはスマホ用のアプリが必要です。バスでもトラムでも使用できます。BUS PLUS の広告が張られているキオスクで購入でき、その後必要額をチャージする仕組みとなっています。アプリの場合はアプリ上でチャージできます。乗車時に各入口の IC リーダーにカードか、アプリの乗車用画面を当てて改札を受けてください。時々、検札官が車内を回って来て、無賃乗車の場合、罰金 (都市により異なるが、ニシュの場合 5000 ディナール: 2025 年 10 月現在) が課されるので注意してください。バス、トラム、トロリーバスとも市内は基本的に全ての停留所に停車しますが、運転は荒いことが多く、乗車後すぐに急発進することがほとんどです。必ず吊り革などにつかまるなど注意が必要です。

バス、トラム、トロリーバスの路線図は、Google map 上の停留所をクリック/タップすると表示されます。また市内の観光局などで配布もされています。

(2) 空港から市内への移動

空港からベオグラード市内までのタクシー代は、行き先のエリアごとに金額が固定されています。(多くの住居がある旧市街までは約 2500 ディナール、約 3600 円) タクシーの支払いは、行先と固定代金が記入されているバウチャーで行われます。バウチャーは地下 1 階到着ロビー前のタクシー案内所で発券されるので、行き先の住所を正しく伝え、発券されたバウチャーを運転手に渡し、降車時に代金を直接運転手に支払う流れとなります。

7. 医療事情について

救急対応が必要な場合には 194 をダイヤルすると最寄りの病院につないでくれますが、外国人対応に慣れており英語が通じる私立医療機関の利用が無難です。独自の救急車を備えており、24 時間ほとんどの救急対応が可能です。

私立医療機関は清潔で医療スタッフも充実し、概して最新の検査や治療機器が使用され

ています。一般的に医師は英語を話しますが、他の職種のスタッフは英語を話せない人もいます。一般傷病受診には予約が必要です。また医療費は高額なので十分な現金、あるいはクレジットカードでの支払いとなります。

医療機関名 : Bel Medic (ベル メディック) www.belmedic.com
住所 : Viktora Igoa 1、Koste Jovanovica 87、Palmira Toljatija 1
(いずれもベオグラード市内)
電話番号 : 011-309-1000, 060-309-1000, 069-309-1000

医療機関名 : Anlave Clinic (アンラヴェ クリニック) www.anlaveclinic.rs
住所 : Vase Pelagica 68、Senjak (ベオグラード市内)
電話番号 : 011-265-0950 (08:00~20:00)

また、市販薬は薬局で簡単に入手できますが、日本製の薬品は入手できません。常備薬が必要な方は必ず持参してください。またその成分名を英語で記載し、受診時には医師が理解できるようにしてください。

予防接種は私立病院や公的な保健機関にて、小児用ワクチンや A 型・B 型肝炎、インフルエンザワクチンが受けられます。動物咬傷後の狂犬病ワクチン接種は公的な保健機関で行っています。ダニ脳炎は森林などに入らなければ感染の危険は低く、通常の生活ではほぼ見られず Bel Medic ではダニ脳炎ワクチンを取り扱っていません。

8. 任国での運転について

当国では原則として、自動二輪・四輪運転ともに隊員の運転を不可としています。

9. お問い合わせ

任国での活動に関する質問は、以下の事務所代表アドレス宛にメールでお問い合わせください。

※長期隊員の方は、お問い合わせは派遣前訓練が開始してから行ってください。

※活動に関わる内容以外の質問はお控えください。

[バルカン事務所代表アドレス : bk_oso_rep@jica.go.jp](mailto:bk_oso_rep@jica.go.jp)

以上